【調査結果の概要】

１　地域特産野菜計

作付面積※は１万800haで、令和４年産に比べ900ha（８％）減少した。

収穫量は20万4,000ｔで、令和４年産に比べ１万9,700ｔ（９％）減少した。

出荷量は18万8,300ｔで、令和４年産に比べ１万8,100ｔ（９％）減少した。

※作付面積とは、は種又は植付けをしたもののうち、発芽又は定着した延べ面積をいう。

２　葉茎菜類

作付面積は6,730haで、令和４年産に比べ530ha（７％）減少した。

収穫量は11万2,800ｔで、令和４年産に比べ１万2,600ｔ（10％）減少した。

出荷量は10万1,500ｔで、令和４年産に比べ１万1,100ｔ（10％）減少した。

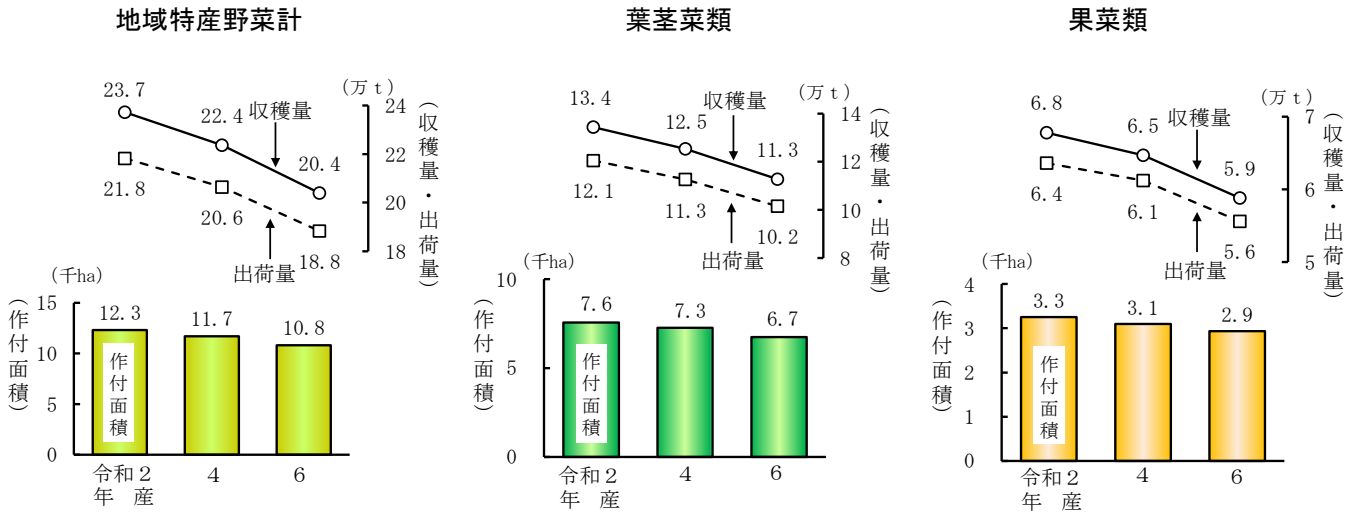
３　果菜類

作付面積は2,930haで、令和４年産に比べ170ha（５％）減少した。

収穫量は５万8,800ｔで、令和４年産に比べ5,900ｔ（９％）減少した。

出荷量は５万5,600ｔで、令和４年産に比べ5,600ｔ（９％）減少した。

図　地域特産野菜の作付面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）



○　地域特産野菜とは、各都道府県において生産される多様な野菜であり、本調査においては、収穫量がおおむね200ｔ以上の野菜を対象とした。